業務名(業務コード)			関利	兑等	更正記	青求	事項	登録(KKA) 														(参え	等)
+317.	T00	450 A	- 2	属	-بد	繰	繰			1		条件						入力がない場合の	3 + 67 lb. (17 ch	Е	图	₽ P	既
項番		項目名	טו	属性	桁	1	繰 2										コード	補完項目	入力条件/形式	E L	R 歴	夏 P ▼ M	庭値
1		入力共通項目		an	398			М															
2		更正請求番号	KYN	an	11			С											(1) 初期登録の場合は、入力不可 (2) 関税等更正請求事項の訂正の場合は、必須入力	0		+	
3		あて先官署コード		uii											-		税関官署コード		(こ) 国現存人工明の主張の訂正の別目は、登場のの			+	H
			CH	an	2			M															
4		あて先部門コード	СНВ	an	2			М									申告先部門コード						
5		都道府県コード	PRF	an	2			м							Ħ		道府県コード					+	
6		請求者コード		uii	_			_			_	-			\vdash		輸出入者コード		(1) 無符号請求者の場合、入力不要			┾	H
			IMC	an	12			С											(2) 先頭 8 桁で入力した場合は、システムで後 4 桁に 「0000」を補完する				
7		請求者名					H								H			国内用輸出入者 D B (請求者コー				+	H
			IMN	an	70			F										ド)					
8		請求者郵便番号	IMY	an	7			С										国内用輸出入者 D B (請求者コー					
		Et la sty /a Er a / den add	TIWIT	an	,			٠										F)				L	
9		請求者住所 1 (都道 府県)	IM1	an	15			F										国内用輸出入者 D B (請求者コー ド)	国内用輸出入者DBに登録されている住所1(都道府県) と異なる場合は、請求者住所1(都道府県)を入力				
10		請求者住所 2 (市区									_							国内用輸出入者D	国内用輸出入者DBに登録されている住所2(市区町村			+	\vdash
		町村(行政区名))	IM2	an	35			F										B (請求者コー ド)	(行政区名)) と異なる場合は、請求者住所2(市区町村 (行政区名)) を入力				
11		請求者住所3(町域		\vdash			\forall	+	+	H	\dashv	+	\forall	+	+			国内用輸出入者D	国内用輸出入者DBに登録されている住所3(町域名・番曲) ト 見かる 場合 (きょうきん こ) 四域名・番曲	\vdash	+	+	H
		名・番地)	IM3	an	35			F										B (請求者コー ド)	地)と異なる場合は、請求者住所3(町域名・番地)を入力				
12		請求者住所4(ビル名ほか)			70			^										国内用輸出入者 D B (請求者コー	国内用輸出入者 D B に登録されている住所 4 (ビル名ほか) と異なる場合は、請求者住所 4 (ビル名ほか)を入力			T	
			1M4	an	70			С										F)					
13		請求者電話番号	IMT	an	11			F										国内用輸出入者 D B (請求者コー	国内用輸出入者DBに登録されている電話番号と異なる場合は、請求者の電話番号を入力				
14		輸入取引者コード															輸出入者コード	ド)	(1) 請求者コードに限定申告者の入力があった場合は、			+	
14		割八玖 コイコード															一下		(1) 請求者コードに限定する者の人力があった場合は、 輸入取引者(インボイス等に記載された荷受人)をコード で入力				
			NMC	an	12			С											(2) 無符号輸入取引者の場合、入力不要 (3) 先頭8桁で入力した場合は、システムで後4桁に				
																			「0000」を補完する				
15		輸入取引者名	NMN	an	70			С										国内用輸出入者 D B(輸入取引者					
16		更正請求適用法令				_												コード)	関税法第7条の15第1項に基づいて更正請求を行う場合			\bot	
10		(関税法第7条の1 5第1項)	TRK	an	1			С											は、「Y」を入力				
17		更正請求適用法令													+				国税通則法第23条第1項に基づいて更正請求を行う場合			+	
		(国税通則法第23 条第1項)	TRS	an	1			С											は、「Y」を入力				
18		更正請求適用法令 (地方税法第72条													Ħ				地方税法第72条の100第1項に基づいて更正請求を行 う場合は、「Y」を入力			+	
		の100第1項)	TRT	an	1			С															
19		更正請求理由コード																	1:適用税番・税率の誤り 2:課税標準の誤り				
			KEC	an	1			М											3:申告数量の誤り 4:税額の誤り 5:上記以外の理由				
20		会計検査院提出対象		\vdash		_	$\vdash \vdash$	+	-		\dashv	-	H	+	+				会計検査院へ情報を提供する場合は「K」を入力	\sqcup		+	Н
		識別	KKS	an	1		Ш	С														\perp	
21		還付又は充当等の別	KJY	an	1			С											1:還付2:充当又は委託納付				
22		受領方法識別コード	110	1			Ħ				\top		$\dagger \dagger$	\dagger	Ħ				A:小切手受領 B:口座振込			T	П
			HOW	an	1			С											C:国庫金送金				
23		銀行名	BNM	j	30		\prod	С											口座振込または国庫金送金により受領する場合は、必須入 カ				
24		支店名	SNM	i	30		$\dag \dag$	W	+		\dagger	\dagger	$\dagger\dagger$	\dagger	$\dagger \dagger$				ロ座振込または国庫金送金により受領する場合は、必須入 カ	\forall		+	H
25		口座種類	Sient	,		-	${oldsymbol{ert}}$	+"	+		+	+	\dashv	+	+	_			ロ座振込により受領する場合は、入力可能	\vdash	+	+	\vdash
		•	ISY	an	1			C	:										1:普通2:当座				
26		口座番号	PFN	0"	14		$\dag \dag$	+	С	H	\dashv	-	$\dagger\dagger$	+	H				口座振込により受領する場合は、入力可能	\vdash	+	+	H
27		口座名義(フリガ	I-LIN	ari	14	-	${oxed}$	+	-		+	+	\sqcup	+	+				口座振込により受領する場合は、入力可能	\sqcup	+	+	H
		ナ)	PNM	j	100				С							L							
28		口座名義	PMG	j	100		\prod		С										口座振込により受領する場合は、入力可能				
29		社内整理用番号	REF	an	20		H	С	+		\dashv	\dagger	$\dag \dag$	+	H					H	+	+	H
30		輸入申告番号	INLI'	all	20		${\mathbb H}$	_	+	H	+	+	H	+	H				(1) 当初申告がシステム対象外の場合も入力可能	\vdash	+	+	Н
	50		ICN	an	11			С											(2) 1輸入申告で複数欄ある場合は、先頭欄についての み当初輸入申告番号を入力	0			
			<u> </u>	1	l	<u> </u>	Ш		1	Ш			<u>1 </u>		Ш	l		1	l			—	Ш

業務	名(第	終コード)	関和	党等:	更正	請求	事項	頁登録	Ř (KKA	۹)	条	:件						1 1			参考)	
項番	欄	項目名	ID	属性	桁	4 1	2									コード	入力がない場合の 補完項目	入力条件/形式	E L	R	履歴	P 5	先定直
31	*	輸入申告年月日	IDD	n	8				М									(1) 関税等更正請求の場合 ①当初申告の輸入申告年月日を入力 ②輸入申告年月日≤輸入許可年月日であること (2) 特例申告に係る関税等更正請求の場合 ①当初申告の特例申告年月日を入力 ②輸入計可年月日≤輸入申告年月日≦特例申告期限日であること (3) 輸入申告番号を入力した欄にのみ入力	0				_
32	*	輸入許可年月日	IPD	n n	8				М									(1) 関税等更正請求の場合 ①当初申告の輸入許可年月日を入力 ②1 BPについては、納付通知書または更正通知書の日付を入力 ③輸入申告年月日≦輸入許可年月日 ≦本業務の入力日であること 《企業務の入力年月日が輸入許可年月日から1年以内であること (2) 特例申告に係る関税等更正請求の場合 ①当初中5の輸入(引取)許可年月日であること ②輸入許可年月日(当納入申告月日であること ③輸入許可年月日日(特例申告期限日から1年以内であること 《企業務の入力年月日が特例申告期限日から1年以内であること (3) 輸入申告番号を入力した欄にのみ入力 (4) 下記の条件であること ①入力された全ての輸入許可年月日が同一会計所属年度であること ②輸入申告年月日<輸入許可年月日であること	0				
33	*	特例申告期限日	ITD	n	8				С									(1) 特例申告に係る関税等更正請求の場合のみ入力 (2)輸入申告番号を入力した欄のみ入力 (3)輸入許可年月日<特例申告期限日<本業務の入力日 であること	0				
34	*	品名	CMM	l an	40	,		М													1	1	_
35	*	関税更正請求前課税 標準額	MKB	n	13	1			С									(1) 税率が従価税の場合は邦貨で必須入力 (2) 関税更正請求前課税標準数量が入力されていない場合は邦貨で必須入力 (3) 他の欄を統合した欄の場合は、統合後の関税課税標準額を邦貨で入力 (4) 関税等更正請求により欄数が増加した欄の場合は、便宜「0」を入力		0			
36	*	関税更正請求前課税 標準数量	MKQ	n	12				С									(1) 税率が従量税の場合は必須入力 (2) 関税更正請求前課税標準額が入力されていない場合 は必須入力 (3) 他の欄を統合した欄の場合は、統合後の関税課税標 準数量を入力 (4) 関税等更正請求により欄数が増加した欄の場合は、 便宜「0」を入力		0			
37	*	関税更正請求前課税 標準数量単位コード	MKC	an	4					С						数量単位コード							
38	*	関税更正請求前品目 番号	MKT	an	10	H			М									(1)システムの輸入申告番号に係る関税等更正請求の場合は、品目コード9桁とNACCS用コード1桁を続けて入力 (2)マニュアルの輸入申告番号に係る関税等更正請求の場合は、輸入統計品目表に定める品目番号6桁と細分番号3桁を続けて入力 (3)関税等更正請求により欄数が増加した欄の場合は、便宜「0」を入力					
39	*	関税更正請求前税率	MKR	! an	25	i			М									(1)無税の場合は、「FREE」を入力 (2)関税定率法第14条第18号適用貨物の場合は、 「EXMP」を入力 (3)関税等更正請求により欄数が増加した欄の場合は、 便宜「0」を入力					
40	*	関税更正請求前税額	MKA	an	11				М									(1) 免税された場合は、「*」記号に続けて免税額を邦 實で入力 (2) 他の欄を統合した欄の場合は、統合後の関税額を邦 實で入力 (3) 他の欄に統合された欄の場合は、「*」記号に続け て統合先の欄番号を入力 (4) 関税等更正請求により欄数が増加した欄の場合は、 便宜「0」を入力					
41	*	関税更正後課税標準 額	AKB	n	13				С									(1) 他の欄を統合した欄の場合は、統合後の関税課税標準額を邦貨で入力 (2)関税等更正請求により欄数が減少した欄の場合は、 便宜「0」を入力 (3)関税更正請求前課稅標準額と同一である場合は入力 省略可		0			
42	*	関税更正後課税標準数量	AKQ	n	12				С									(1) 他の欄を統合した欄の場合は、統合後の関税課税標準数量を入力 (2) 関税等更正請求により欄数が減少した欄の場合は、 便宜「O」を入力 (3) 関税更正請求前課税標準数量と同一である場合は入 力省略可		0			
43		関税更正後課税標準 数量単位コード	AKC	an	4					С					l	数量単位コード					7	\dagger	_
44	*	関税更正後品目番号	AKT	an	10	H			С									(1)システムの輸入申告番号に係る関税等更正請求の場合は、品目コード9桁とNACCS用コード1桁を続けて入力 (2)マニュアルの輸入申告番号に係る関税等更正請求の場合は、輸入統計品目表に定める品目番号6桁と細分番号3桁を続けて入力(3)関係等更正請求により欄数が減少した欄の場合は、便宜「0」を入力(4)関税更正請求前品目番号と同一である場合は、入力省略可					_

業務	名(第	終コード)	関和	党等]	更正	請求	事項	登録	(K	KA)							端末	任様	(参	考)
項番	欄	項目名	ID	属性	桁	繰 1	繰 2					条件	<u> </u>		コード	入力がない場合の 補完項目	入力条件/形式	E L	R J	覆 P 琵 M	
45	*	関税更正後税率	AKR	an	25				С								(1)無税の場合は、「FREE」を入力 (2)関税定率法第14条第18号適用貨物の場合は、 「EXMP」を入力 (3)関税等更正請求により欄数が減少した欄の場合は、 便宜「0」を入力 (4)関税更正請求前税率と同一である場合は、入力省略 可				
46	*	関税更正後税額	AKA	an	11				С								(1) 免税された場合は、「*」記号に続けて免税額を邦貨で入力 (2) 他の欄を統合した欄の場合は、統合後の関税額を邦貨で入力 (3) 他の欄に統合された欄の場合は、「*」記号に続けて統合先の欄番号を入力 (4) 関税等更正請求により欄数が減少した欄の場合は、便宜「0」を入力 (5) 関税更正請求前税額と同一である場合は、入力省略可				
47	*	内国消費税等更正請 求前課税標準額	MB_	n	13	6			С								(1) 税率が従価税の場合は邦貨で必須入力 (2) 内国消費税等更正請求前課税標準数量に入力がない 場合は必須入力 (3) 他の欄を統合した欄の場合は、統合後の内国消費税 等課税標準額を邦貨で入力 (4) 関税等更正請求により欄数が増加した欄の場合は、 便宜「0」を入力		0		
48	*	内国消費税等更正請 求前課税標準数量	MQ_	n	12	*			С								(1) 税率が従量税の場合は必須入力 (2) 内国消費税等更正請求前課税標準額に入力がない場合は必須入力 (3) 他の欄を統合した欄の場合は、統合後の内国消費税等課税標準数量を入力 (4) 関税等更正請求により欄数が増加した欄の場合は、 便宜「0」を入力		0		
49	*	内国消費税等更正請 求前課税標準数量単 位コード	MC_	an	4	*				С					数量単位コード						
50		内国消費税等更正請 求前種別コード	MK_	an	10	*			М						内国消費税等種別 コード		関税等更正請求により欄数が増加した欄の場合は、便宜 「O」を入力				
51		内国消費税等更正請 求前税率	MR_	an	14	*			М								関税等更正請求により欄数が増加した欄の場合は、便宜 「O」を入力				
52	*	内国消費稅等更正請 求前稅額	MA_	an	11	*			М								(1) 免税された場合は、「*」記号に続けて免税額を邦 貨で入力 (2) 他の欄を統合した欄の場合は、統合後の内国消費税 等税額を邦貨で入力 (3) 他の欄に統合された欄の場合は、「*」記号に続け て統合先の欄番号を入力 (4) 関税等更正請求により欄数が増加した欄の場合は、 便宜「0」を入力				
50	*	内国消費税等更正後 課税標準額	AB_	n	13	*			С								(1) 他の欄を統合した欄の場合は、統合後の内国消費税 等課税標準額を邦貨で入力 (2) 関税等更正請求により欄数が減少した欄の場合は、 便宜「0」を入力 (3) 内国消費税等更正請求前課税標準額と同一である場 合は、入力省略可		0		
54	*	内国消費税等更正後 課税標準数量	AQ_	n	12	*			С								(1) 他の欄を統合した欄の場合は、統合後の内国消費税 等課税標準数量を入力 (2) 関税等更正請求により欄数が減少した欄の場合は、 便宜「0」を入力 (3) 内国消費税等更正請求前課税標準数量と同一である 場合は、入力省略可		0		
55	*	内国消費税等更正後 課税標準数量単位 コード	AC_	an	4	*			1	С					数量単位コード					1	П
56	*	内国消費税等更正後種別コード	AK_	an	10	*			С						内国消費税等種別コード		(1) 関税等更正請求により欄数が減少した欄の場合は、 便宜「0」を入力 (2) 内国消費税等更正請求前種別コードと同一である場 合は、入力省略可			+	
57	*	内国消費税等更正後 税率	AR_	an	14	*			С								(1) 関税等更正請求により欄数が減少した欄の場合は、 便宜「0」を入力 (2) 内国消費税等更正請求前税率と同一である場合は、 入力省略可			\dagger	
58	*	内国消費税等更正後 税額	AA_	an	11	*			С								(1) 免税された場合は、「*」記号に続けて免税額を邦貨で入力 (2) 他の欄を統合した欄の場合は、統合後の内国消費税等税額を邦貨で入力 (3) 他の欄に結合された欄の場合は、「*」記号に続けて統合先の欄番号を入力 (4) 関税等更正請求により欄数が減少した欄の場合は、便宜「0」を入力 (5) 内国消費税等更正請求前税額と同一である場合は、入力省略可				